

## 第八回 『ゴミを活かす地域の仕組み』 ～山形県長井市と徳島県上勝町の先進事例～

「持続可能な地域づくり」には、「エコへの配慮」といった視点が不可欠ですが、特にゴミ処理は大きな課題のひとつです。今回は、本来厄介者であるゴミをむしろ、地域住民の自治を育て、次世代の子どもたちへの教育へとつなげる素材として活かしている2つの先進地域の事例から学びます。

家庭での生ゴミの集積・堆肥化 農家が農産物を生産 家庭で消費という「台所と田畑を結ぶ」地域循環システムを日本で初めて確立した山形県長井市「レインボープラン」成功の立役者・菅野芳秀さん。

そして、町民による徹底したゴミの分別収集により資源化率100%を目指す徳島県上勝町からは、その取り組みの運営を担う「ゼロ・ウェイスト・アカデミー」の事務局長・松岡夏子さんをお招きします。お二方から話を伺える貴重な機会です。みなさまのご来場をお待ちしております。



### 【菅野芳秀氏】

1949年 山形県長井市生まれ 農業・養鶏業  
NPOレインボープラン市民市場「虹の駅」副理事長  
山形県経営構造対策推進協議会 専門アドバイザー  
アジア農民交流センター共同代表、環境省環境カウンセラー他  
著書に「生ゴミはよみがえる」(講談社)他



### 【松岡夏子氏】

1981年 兵庫県西宮市生まれ  
神戸大学 国際文化学部から  
環境問題を学ぶためデンマーク・オーフス大学へ留学  
徳島県上勝町職員(まちづくり推進課)を経て、  
現在、NPO法人「ゼロ・ウェイスト・アカデミー」事務局長

日時：2008年2月11日(月・祝) 14:00～16:30

場所：小田原市民会館 6F

内容：基調講演：菅野芳秀氏、松岡夏子氏  
シンポジウム

菅野氏、松岡氏、あしがら地区の環境問題などに携わる方々  
コーディネーター：加藤憲一(あしがら総研 代表)

参加費：1,000円

定員：70名 (要予約・2月6日(水)までにTel,Faxまたはメールにてお申し込み下さい)



加藤 憲一

ご好評いただきました「小田原再生フォーラム」は、今回をもって最終回とさせていただきます。今までご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。なお、過去7回の内容等は、下記のサイトからご覧いただけます。 <http://forum.katoken.info/>

お問い合わせ・お申し込み先

有限会社 あしがら総研

(〒250-0011 小田原市栄町2-13-1 2F)

TEL: 0465-20-0575 FAX: 0465-20-0570

E-Mail: asigarasouken@nifty.com

2/11 『ゴミを活かす地域の仕組み』参加申し込み票

(Faxで申し込まれる際にご利用下さい)

〔 会社名・所属団体名等 〕

〔 ご芳名 〕

〔 ご連絡先(電話・メールアドレス等) 〕